



なのはな会
田中じゅんこ

～生活って政治！！ Let's 市民力～

9月議会では、同意1件・議案14件・発議1件が提案されすべて可決しました。

平成30年度決算は、一般会計・特別会計・企業会計すべて含めて411億円（歳出）です。

※田中じゅんこは、水道・消防・し尿処理・急患センターに関する宗像地区事務組合議会議員でもあります。

～ 一般質問から ～

◇持続可能な下水道事業のために 市民に知らせる努力を



私たちが毎日使って汚し流している水は、下水道事業により処理されて川や海に流されています。

下水道に流してはいけない主なものに、油、食べ物の残りかす、紙おむつ、生理用ナプキン、ティッシュペーパー、髪の毛、せっけんなどの固形物、ガソリンやシンナーなどの危険物があるのを知っていますか。

例



これらのものは、下水を汚すだけでなく、排水溝のトラップや下水管のつまり、下水を流すポンプの故障の原因になります。

しかし実際には、紙おむつや、油、食べ物の残りかす、髪の毛などが流されてきて時間も費用もかかっています。これら処理しきれいにして川や海に流すために1日150万円の費用がかかっています。

私も含め下水道についての正しい知識を知る機会もありません。生活をしている人が多いことがわかりました。

もっと、広報での周知、キャンペーンやイベントの企画をし、市民への啓発が必要です。

市内小学校4年生の浄化センター見学（現在は、全学校実施ではない）、学校での出前講座など、子どもから大人までが学べる機会を増やすべきではないかと思えます。

また、福岡南環境景観部会では、愛媛県工業技術センターで開発された、**マイエンザ（微生物活性酵素）**を、10年ほど前から作られています。微生物の力で、家庭の排水口や下水管をきれいにする働きがあり、この情報をもっと周知していくべきではないか。

まずは、いろんな情報をお知らせし、伝えていくことが大切と提案しました。

ちいさな子どもでも「食後のお皿の食べ残しを拭く」などできることはあります。一人一人が、日々の生活の中で、ちょっとだけ心がければできることを始めてみるのが大切です。一人一人の行動が、環境にも地球にも優しいまちづくり、持続可能なまちづくりとなり、未来を担う子どもたちのためのまちづくりへとつながっていきます。

～ 議案から ～

まちづくり基本構想案を全員賛成で可決

昨年12月議会で否決された「まちづくり基本構想案」が再提案され、全議員が参加する特別委員会を設置し、審査しました。

基本構想案は、市民が参画する過程を経て策定するという、今までにない試みの上で策定・提案されています。今後も市民が参画できる仕組みが重要だと考えます。

基本構想を策定する審議会でも、実現段階での市民参画を意見として答申に書かれています。

- ①具体化する際の情報開示
 - ②住民、専門家などの参加の仕組みをつくること
 - ③市民への説明責任を果たし、市民が参加できる機会をつくり、施策に反映する機会をつくること
- この3点を確認し賛成しました。

～ 宗像地区事務組合議会から ～

令和元年第2回定会例が10月3日（木）に開催されました。

2件の報告と、15の議案が出されました。

多くの質問が出されましたが、4件の平成30年度の決算を認定し、ほか11議案すべて可決されました。

～ 議案ではあませんが ～

福津市は、「SDGs未来都市」に選定されました。

SDGsとは、2015年の9月国連加盟193カ国が全会一致で決めた世界共通の目標で、「誰一人、取り残さない社会づくり」を目指しています。

「それって世界の目標だから私には関係ない」と思われがちですが、そうではないのです。

下水道のこと一つでも、様々な問題が根っこでは、互いにつながっています。その問題を一人一人が自分の事として捉え、意識して考え、行動して取り組んでいくことが必要なのです。